

＜いい音 体感ルーム＞ i o t h (アイオス) について
オーディオ評論家の小原氏による試聴評価 紹介

お客様の声

はじめに

著名なオーディオ評論家でいらっしゃる小原様のご自宅の視聴室工事を弊社で担当させていただいたこともあって、無理を言って、弊社の＜いい音体感ルーム＞ i o t h について試聴評価をして頂きました。

i o t h では、壁面に脱着式の吸音パネルや音響拡散体の設置により、いろいろなバリエーションの音響空間を体験していただけるようにしています。

ioth体験

ルーム・アコースティックは、再生音を司る極めて重要なパラメータである。日本板硝子環境アメニティ株式会社（以下NEA）が新設した視聴室「i o t h」での体験を通じて、私は改めてそう実感した。

大多数のオーディオファイルは、装置には投資を惜しまないものの、部屋の防音・遮音やその音響特性には、さほど関心を払わないように見受けられる。しかし、機器のパフォーマンスを忠実に引き出す上で、室内環境とその性能が大きな影響をおよぼすことを、もっと素直に認識すべきである。「i o t h」で体験できることは、その意識改革をもたらしてくれることだろう。吸音・反射・拡散といった室内音響の重要な要素の効能が、ここ「i o t h」では実体験できるのである。

今回は「i o t h」に組み込まれている音響パネルをいくつかの組み合わせで使い分け、再生音にどのような変化が生じるかを検証してみた。

条件 1, 2

まず始めに、前面（スピーカー側）の上下、側面すべてを吸音状態とした音（条件 1）と、側面前方に拡散体を左右で 2 枚ずつ設置した際の音（条件 2）を比較した。条件 1 では、かなりデッドな響きであることが実感でき、スピーカーからの直接音をストレートに聴いている印象だ。対する条件 2 は、音場再現に 3 次元的な広がり

もたらされ、パースペクティブがつくことで音楽に奥行きと立体感が醸し出されるようになった。聴いていて心地よいのは条件 2 だが、モニター的な聴き方が可能な条件 1 も、目的が定まっていればポジティブに捉えることができる。



条件 1(全面吸音)を試聴(小原氏)

条件 3

それに比べると、拡散体の平らな面（裏面）を表に出した条件 3 は、音がきつくて耳に痛い。中高域にピーキーな感じがあり、ヴォーカルがやや硬く感じられる。ここで確認できるのは、拡散体は吸音壁のように体積や厚みで効果が生まれるのではなく、表面の構造や仕上げが作用するということだ。

条件 3 (側壁に反射板設置)で
弊社スタッフと意見交換

条件4

次に試したのは、前面下部の吸音板を外して、スピーカー背後の下側を反射壁とした条件4である。拡散体ありの場合に比べて若干ピーキーな感じはあるものの、音場の立体感は表現されている。こうした再生音が一般住宅の居室に近いのではないだろうか。



条件4 (正面壁の下半分を反射)

条件5, 6

条件4をベースに、左右の側壁に拡散体を各2枚設置した状態を条件5とした。この状態が最も音場感が広く、特にスピーカー左右のワイドな広がりが見事だった。ヴォーカルのタッチも柔らかで、音像定位も自然に感じられる。



条件5 (正面壁の下半分を反射、拡散体設置)

条件4で使用した左右の拡散体のうちの各1枚を、側面の可変部前側の吸音板を外して勘合した。つまり、拡散体が縦に上下設置された状態となる。空間の立体感が豊かに醸し出された条件5に比べると、この条件6は、広がり効能は若干薄まるものの、効き目はわかる。ど

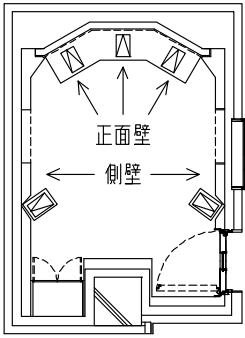
ちらを取るかと問われたら、条件5ではあるが…。

ここまで聴いてきた試聴ソースは、カラフルなアフロビートがアクセントとなった女性ジャズヴォーカルだが、音楽ジャンルが異なると、響きの印象も少なからず違ってくる。例えばホール録音のクラシック（シンフォニーオーケストラ）では、条件1と条件6とを比べると、条件6が断然好ましい。一方でタイトなリズムのロック／フュージョン系ソースとなると、ややデッドな響きが奏功するのか、条件1が分析的にモニタリングできてもおもしろそうだ。

このように「i o t h」は、リスナーの志向や目的、さらには音楽ジャンル毎に、音響パネルの組み合わせを変えることで、よりの確なルームアコースティックに変容することがわかった。このことはすなわち、NEAが顧客のニーズに則した施工に柔軟に対応できるということを表しているといえよう。

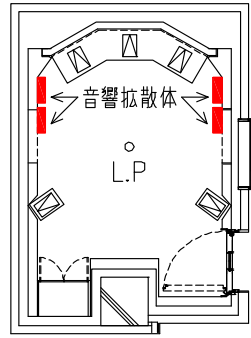
オーディオ／AV機器の買い替えや使いこなしが一段落し、もう少し再生環境に目を向けたいという方には、「i o t h」のコンディションがさまざまなヒントを与えてくれるのではないだろうか。

条件 1



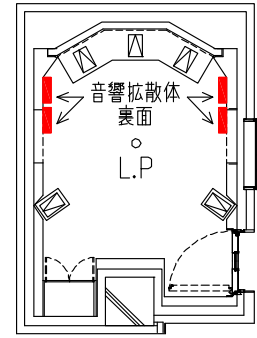
正面壁 : 全て吸音
側壁 : 全て吸音

条件 2



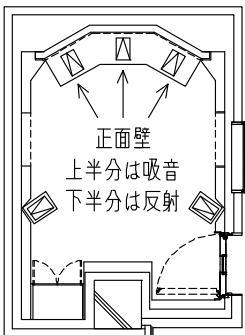
正面壁 : 全て吸音
側壁 : 側面前方スピーカー横に
音響拡散体を2枚ずつ設置

条件 3



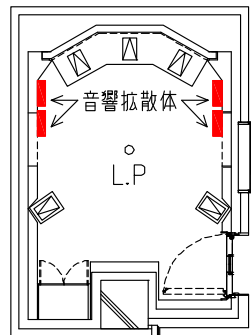
正面壁 : 全て吸音
側壁 : 条件2の音響拡散体の裏面を
室内側に向けて反射面として設置

条件 4



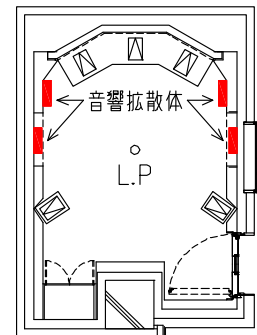
正面壁 : 上半分は吸音
下半分は反射
側壁 : 全て吸音

条件 5



正面壁 : 上半分は吸音
下半分は反射
側壁 : 側面前方スピーカー横に
音響拡散体を2枚ずつ設置

条件 6



正面壁 : 上半分は吸音
下半分反射
側壁 : 側面前方スピーカー横と吸音壁に
埋め込んで、音響拡散体を設置